

(様式 2)

令和 5 年 5 月 2 日

### 女性の就農環境改善計画

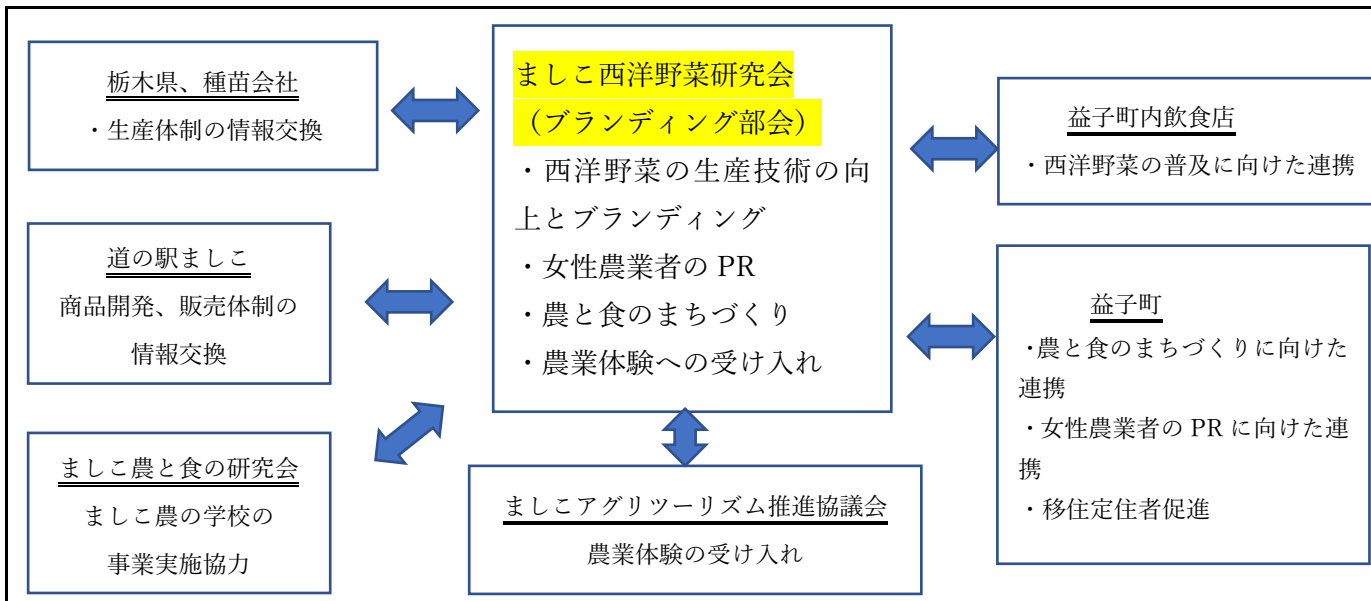
(令和 5 年度女性の就農環境改善支援事業)

実施するメニュー (該当に○)	第 4 の ( 1 ) (施設等確保の取組)	
	第 4 の ( 2 ) (グループの新たな取組)	○

#### 1 地域取組主体の概要

名称	ましこ西洋野菜研究会 (ブランディング部会)	
所在地	栃木県芳賀郡益子町大字益子2030番地	
代表者	加藤美岐	
主な組織の事業内容 (注)	<ul style="list-style-type: none"><li>・西洋野菜とドレッシング等のセット商品開発に関する事</li><li>・女性農業者のPRに関する事</li><li>・西洋野菜のブランディングに関する事</li><li>・消費者や実需者に対する情報発信や多角的な広報に関する事。</li><li>・農と食のまちづくりに関する事</li><li>・アグリツーリズムに関する事</li><li>・その他目的達成に必要な事業に関する事</li></ul>	女性農業者の人数 : 4

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。



3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

(1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

<p><b>【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】</b></p> <p>女性農家の取り組みやすい西洋野菜の少量多品目栽培は、収益性が低い傾向にある。農村部の著しい人口減少やコロナ禍による飲食店等の需要減少により、今後は如何にして女性農業者を増やし、収益性を向上させるかが課題である。</p> <p><b>【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】</b></p> <p><b>【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】</b></p> <p>女性農業者を増やし定着させるには、まずは同性の仲間づくりが重要と考える。多様なことを相談できるグループ内の環境づくりを進め、如何に活躍できるベースを築くかが課題である。</p>
--

(注) (2)、(3) の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

確保する施設等の区分	①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他						備考
	区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業者 (注2) の人数	事業費 (千円)  国庫補助金	
計							

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事する者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

取組区分	①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他							
	区分番号 (注1)	時期	内容	実施回数	参加する 女性農業者の人数	事業費 (円)	国庫補助金	備考
①	8月 11月	西洋野菜とマヨネーズ等のセット販売新商品の開発 飲食店とのワークショップ	1	4	60,760	60,760	委託費	
①	6月	野菜セット商品開発 花を活用した装飾テクニックを学ぶ。	1	4	38,270	38,270	消耗品費 謝金	
②	9月	先進地視察 埼玉県深谷市	1	4	46,432	46,432	旅費	
③	6月 10月	ましこ農の学校での交流会 (会員募集の取組) ましこアグリツーリズムへの参加	1	4				
④	6月 11月	販売促進研修 トキタ種苗(株)との勉強会 トキタ種苗(株)主催研修会	1 1	3 4	63,772	63,772	旅費	
⑤	11月	マルシェの開催	1	4				
⑥	7月	ホームページの構築による女性農業者の確保	1	4	158,000	158,000	委託費	
計				8	32	367,234	367,234	

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開
① 商品等開発	<p>現在、町内飲食店（数店）と連携し、直売を強みとした鮮度・質・安さを武器に使ってもらっているが、需要側の意向を調査反映し、町外にも目を向け取引店舗数を増やしていく。また、西洋野菜とマヨネーズ等のセット商品開発を模索していく。</p> <p>見た目の重要性を認識するため、花を使った装飾を学ぶ。</p> <p>飲食店とのワークショップを行い、需要の状況や今後の新メニュー開発の可能性を把握し、今後の生産に活かしていく。</p>
② 先進地視察	<p>埼玉県深谷市「ふかやテラス 野菜な仲間たちファーム」を視察。</p> <p>収穫体験や食の分野を学び、アグリツーリズムの魅力ある企画に繋げていく。</p>
③ 会員募集・農業体験受入	<p>「ましこ農の学校」学生との交流（農業体験や試食会）を行うことにより、農業に関するつながりが生まれ、組織への加入や就農を目指す。</p> <p>「ましこアグリツーリズム協議会」のメンバーに加入し、農業体験をメインとしたツアーを企画・実施することで、農園の魅力度を向上させる。</p>
④ 研修会	<p>販路の開拓や直売に関する学びを推進する。</p>
⑤ マルシェ開催に向けた取組	<p>「道の駅ましこ」や町内のイベント会場においてマルシェを開催し、消費者ニーズを掴む力を高める。また、消費者に対してアンケートを実施し、アンケート結果を個々の意見として捉えるのではなく、消費者の大きな傾向を掴むことがマーケティングの基本と考える。</p>
⑥ その他	<p>組織としてホームページを開設し、ましこマルシェの開催やアグリツーリズムの紹介を行う。女性農業者確保のため、里山の景観を活かした魅力あるプロモーション動画や、ましこ農の学校女性生徒、ましこアグリツーリズムへ参加した女性の声をアップし、地域農業の魅力度を向上させる。また、現在個別で運営しているフェイスブックやインスタグラムとの連携を図る。</p>

#### 4 本事業を活用した取組計画（注）

時期	取組内容・回数	備考
10月	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <p>① 農業に関心がある女性（農の学校の学生など）に対し、まずはお試しの形でしばらくの間、体験してもらう。</p>	
9月	<p>② 仲の良い女性友達同士セットで、生産や収穫、販売までの体験をしてもらい、まずは農業に関心を持ってもらう。</p>	
11月	<p>③ 中学生や高校生のマイチャレンジ（職場体験）事業の受</p>	【目標】

	<p>け入れを行う。</p> <p><b>【本事業を活用した取組の実施方針】</b></p> <p>ホームページを開設し、女性農業者確保のため里山景観を活かした魅力あるプロモーション動画や、ましこ農の学校女性生徒、アグリツーリズムへ参加した女性の声をアップし、地域農業の魅力度をアップさせる。また、現在個別で運営しているフェイスブックやInstagramとの連携を図る。</p> <p>その他の取組として、質の高い商品をより魅力的に見せるために、花を活用した装飾テクニックの活用を学び、視覚的に購入者の心を掴む作戦を展開する。女性は男性よりもそのような装飾感に長けているので、女性活躍の場を創出する。</p> <p><b>【具体的に実施する取組内容】</b></p> <p>毎月1度のミーティング</p> <p>6月 販売促進研修（種苗会社との勉強会） 1回  「ましこ農の学校」学生との交流会 1回  花を活かした装飾テクニックの勉強会 1回</p> <p>7月 ホームページの開設による女性農業者の確保 1回</p> <p>8月 西洋野菜セット商品開発 1回</p> <p>9月 先進地視察研修（埼玉県 深谷市） 1回</p> <p>10月 ましこアグリツーリズムへの参加 1回</p> <p>11月 マルシェの開催 1回  マイチャレンジの受け入れ 1回  飲食店とのワークショップ 1回  種苗会社主催の研修会 1回</p>	2名
--	--	----

(注) 3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標 (注)

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数 (注)	事業実施年度	1人
	事業実施翌年度	2人
	合計	3人

(女性農業者の新規確保人数の内訳)

自営農業就業者 人、雇用就農者 人、 アルバイト等 3人

(注) 事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

(参考)

上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画

(第4の(1)「施設等確保の取組」のみ記載)

【事業実施年度】

(取組予定業務)

(採用時期)

(人数)

【事業実施翌年度】

(取組予定業務)

(採用時期)

(人数)

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。